

カーボディマスター科、 自動車整備・トータルマスター科			2026年度 授業計画			
時 期	3年前期	単 元	実 習	教科名	骨格修正	
科 目	車枠及び車体・電子制御装置の整備作業	教科書等 持参品	日産車体士テキスト		発行日	
			日産塗装士テキスト			
総時限	46				教科 担当	上谷 晃一
総時間	73.6					濱村 和樹

1. 指導教員の実務経験

該当

非該当

車体整備士として自動車板金、塗装全般の実務経験がある教員により板金全般の工具の取り扱い、損傷部分の修正について指導

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ・フレーム修正機の基礎的な取り扱いを理解する。
- ・フレーム修正機とその関連機器を理解する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ・点検の仕方を理解する。
- ・損傷診断について理解する。
- ・計測機器及び車体寸法図を理解する。
- ・分解作業を理解する。
- ・車両の基本固定を理解する。
- ・部品組み付け、パネル合わせ方法を理解する。
- ・検査の必要性を理解する。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・実習授業時に行なう修正作業が正しく出来るか、又、筆記試験の記述により100点満点で評価する
- ・合格点：60点以上
- 80点以上：優 60点以上：良 60点未満：不可
- ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。
- 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
- ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

5. 準備学習

- ・過去2年間で学んだ自動車整備の基礎知識全般を復習しておくこと

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。

1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

カーボディマスター科、
自動車整備・トータルマスター科

2026年度 授業計画

時 期	3年前期	単元	実習	教科名	骨格修正	
7. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	フレーム修正作業の概要と安全について				・セレット	
2	作業部周辺の部品外し。				・トラムトラッキングゲージ	
3	"				・エアドリル	
4	トラム・トラッキング・ゲージの使い方。計測作業。				・スポットドリル	
5	"				・ベルトサンダー	
6	セレットへの車両セット。				・ベルトサンダー用ベルト	
7	補助固定の仕方、練習。				・ジックスプレー	
8	"				・チッピング塗料	
9	各部の部品名称、油圧タワーのセット方法。				・ドリルピス	
10	クランプ、引き方の説明。				・皮保護具	
11	フロントサイドメンバーの引き作業、計測。				・MIG溶接機	
12	計測、押し作業。				・防災マット	
13	フードレッジ、コアサボ等、フロント溶接パネルの外し作業。					
14	"					
15	"					
16	フロントガラスの脱着					
17	"					
18	"					
19	外したパーツの合わせ作業。					
20	"					
21	"					
22	ジックスプレーの説明。					
23	スポットカッターでのミス穴の溶接埋め作業。					
24	"					
25	プラグ溶接による本溶接。					
26	"					
27	"					
28	"					
29	"					
30	"					
31	"					
32	"					
33	部品の合わせ作業。					
34	チッピング塗料を使った塗装。					
35	Fドア外し。Fピラー下部のカット作業。					
36	ピラーの仮止め、Fドアの合わせ作業。					
37	Rドア、Fドア、Fフェンダーの合わせ作業。					
38	Fピラーの本溶接。					
39	"					
40	"					
41	"					
42	車両復旧。					
43	"					
44	"					
45	"					
46	"					

※ 期末試験は授業時間に含まない